

オブジェ <誕生・成長・飛翔> 乾漆皿 蒔絵 <月光・くじら>

A2200211 小島絵李

*** デザインコンセプト ***
「残したいもの・伝えたいもの」

●オブジェ

新しいものが生まれ（誕生）だんだん大きく育っていき（成長）
羽ばたいてゆく（飛翔）という現象を形にする。
自分が漆に出会って、学んで、表現するという過程を表したかった。

●乾漆皿

実際に使うものとしてつくりたいので、一番シンプルで使いやすい丸型にする。主な用途は、菓子器。

●蒔絵

月光は地上の絵で、くじらは海中の絵なので、2つの表現の区別をつける。
蒔絵という技法でどんな表現ができるのかを知りたかった。

*** 制作工程 *** () は回数

オブジェ

- ・発泡材で原型を作る
- ・サーフェーサー → 水研ぎ (3)
- ・布着せ → 空研ぎ (2)
- ・切粉付け → 空研ぎ (2)
- ・錆付け → 空研ぎ (2)
- ・錆固め
- ・すぐろめ → 炭研ぎ (2) } 下塗り・中塗り
- ・呂色 → 炭研ぎ (2) } 上塗り
- ・摺り漆 → 胴摺り (4)

乾漆皿

- ・石膏で型を作る
- ・型に錫を貼る
- ・布着せ → 空研ぎ (1)
- ・切粉付け → 空研ぎ (1)
- ・布着せ → 切粉付け → 空研ぎ (7)
- ・切粉付け
- ・錆付け → 空研ぎ
- ・型から外し錫をはがす
- ・錆固め
- ・呂色 → 炭研ぎ (2)
- ・仕上げ塗り

蒔絵

- ・ベニヤ板でパネルを作る
- ・木固め
- ・切粉付け → 空研ぎ (3)
- ・錆付け → 空研ぎ (1)
- ・すぐろめ → 炭研ぎ (2)
- ・呂色 → 炭研ぎ (2)
- ・摺り漆
- <月光>
 - ・街の形に銀を蒔く → 粉固め
 - ・月の光に貝を貼る
 - ・呂色 → 炭研ぎ (2)
 - ・金を蒔く → 粉固め
 - ・研出し → 摺り漆
- <<くじら>>
 - ・波の形に貝を貼る
 - ・呂色 → 炭研ぎ (2)
 - ・摺り漆 → 胴摺り
 - ・くじらの形に乾漆粉を蒔く → 粉固め → 炭研ぎ
 - ・下絵漆 → 炭研ぎ (2)
 - ・くじらに乾漆粉を蒔く → 粉固め → 研出し
 - ・摺り漆

オブジェ・誕生



オブジェ・成長



オブジェ・飛翔



乾漆皿



蒔絵・月光



蒔絵・くじら



*** 考察 ***

今回、特に力を入れて制作したのがオブジェで、曲線が多く炭研ぎが大変だったが、そのかわりに、形を自由に表現でき、1番自分らしさの出た作品になった。乾漆皿は、出来上がっていろいろなものが入れられそうな感じに仕上がった。蒔絵は、思ったより表現の仕方が難しく、絵としてのまとまりがあまりなかった。

*** 感想 ***

会津で生まれても、漆芸が会津の伝統工芸だということを知らずにいたので、漆に出会えたことはとても嬉しい。そして、頭で理解する前に、実際に漆に触れることができたので、分からないことだらけだったが、逆に新鮮で自然と自分の中に入って来たように思う。今まで馴染みのなかった漆に関わっていくうちに、生活の中に漆器があるのは当たり前のように思えてきた。たぶん、漆という高価なものをタダで自由に使うことができたためだと思う。2年間学んだことを大切にしたい。これからもできる限り、漆に関わっていきたい。